

令和5年度 京都精神保健福祉施設協議会総会 記念講演会

「当事者の視点からリカバリーをとらえ直す」

～「リカバリー」と「就労」との関係からこぼれ落ちるものとは……～

こまざわ まゆみ
駒澤 真由美 氏

(立命館大学大学院先端総合学術研究科プロジェクトマネージャー)

プロフィール

経営コンサルティング会社勤務時に夫と死別。その後、新規事業の立ち上げを任せられ、希死念慮を伴ううつ病を発症。退職して臨床心理、精神保健福祉を一から学ぶ。精神科病院や就労支援施設での実習を通じて、精神保健医療福祉と雇用に関わる制度・サービスに疑問を抱き、研究の道に進む。日本学術振興会特別研究員(DC2)を経て、2021年9月に立命館大学大学院先端総合学術研究科修了。博士(学術)。現在、立命館大学大学院先端総合学術研究科プロジェクトマネージャー(研究指導助手)。

実に3年ぶりの記念講演会の開催となります。

今回は駒澤真由美さんをお招きしてお話いただきます。

駒澤さんは著書『精神障害を生きる～就労を通して見た当事者の「生の実践～』の中で、精神障害当事者が様々な就労の場での自らの体験を通して、働くこと・生きることの意味、そしてその過程の中で感じた“リカバリー”について書かれており、その内容はまさに「生の実践」そのものです。就労現場のフィールドワークと、「当事者との対話」によるライフストーリー・インタビューを通して語られる言葉から“リカバリー”をとらえ直すお話は、日々支援に関わる我々にとって新たな気づきを得る機会となると思います。

是非ご参加をいただきますようお願いいたします。



【日時】 2023年 6月18日(日)
開演 13:30 (終了15:30予定)

【場所】 ひと・まち交流館京都 第5会議室
住所 京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
(河原町五条下る東側)3階
電話 075-354-8711

【参加協力費】500円
※会員施設職員は無料。

【主催】 京都精神保健福祉施設協議会
事務局 京都市朱雀工房
電話 075(813)0501
FAX 075(813)0520

【バス】市バス4, 17, 205号系統「河原町正面」下車
【電車】京阪電車「清水五条」下車 徒歩8分
地下鉄烏丸線「五条」下車 徒歩10分

令和5年度 京都精神保健福祉施設協議会総会 記念講演会 申込用紙

申込先 事務局 京都市朱雀工房

担当：中條 宛

FAX：075-813-0520

締切 2023年6月14日（水）

ふりがな	
お名前	
ご所属 ※該当する口に✓をご記入ください。	<input type="checkbox"/> 京都精神保健福祉施設協議会 加盟事業所 職員 () <input type="checkbox"/> その他 ()
ご連絡先 (TEL・FAX もしくは Mail) ※日中連絡のつく番号等をご記入ください。	

記載された個人情報は記念講演会への参加申し込み以外に使用することはありません。